

事業報告

令和5年度は日本の経済がコロナ禍を乗り越え、社会も活気を取り戻し景気は回復基調となり、自動車産業を取り巻く環境は半導体不足の緩和により自動車の生産と販売は回復しました。

令和5年度における国内新車自動車販売台数は、昨年12月のダイハツ工業の認証不正に伴う出荷停止による影響もあったものの、前年度比3.3%増の452万8,668台と令和4年度に引き続き2年連続の増加に転じて販売を伸ばしました。

本県における新車新規登録・届出台数も前年度比2.6%増の40,863台と前年度実績を上回り3年ぶりの4万台となりました。

これを受け、当協会の主要業務である自動車番号標板交付・頒布事業は、交付・頒布枚数が前年度比9.0%増の15,058枚の増加となり、交付・頒布手数料収益も同比16.8%増の1,273万円程の増収となりました。

一方、印紙類の売り捌き事業においては、特に自動車重量税印紙の取扱金額が新車新規登録及び継続検査におけるOSSの利用拡大に伴い、前年度比で7.2%減と落ち込み、手数料収益も120万円程の減収となりました。

希望番号の希望率は、登録自動車が34.6%と想定の33%を上回り、軽自動車も23.5%と想定の23%を上回りました。総合的に堅調な伸びとなりました。

昨年10月23日から交付を開始しました「秋田版図柄入りナンバー」（秋田犬の親子）は、好調に推移しており、「全国版図柄入りナンバー」や「大阪・関西万博ナンバー」の申込件数を既に超えており、また、寄付なしのモノトーン版より寄付ありのフルカラー版の申し込みの方が84.4%を占め圧倒的に多くなっています。

公益事業については、コロナ禍の収束により従来どおり交通事故防止啓発を始め自動車行政の推進に寄与し健全な車社会の発展に資する取り組みへの参加・支援・啓発等を積極的に行ってきました。